		7 - 0				
講義名	教育社会学【教職科目】	その他 講義連絡にて、i	5約去和女才 2			
	開講期・曜日・時限 前期 火曜日 3 時限	調表理船にて、	₹科を配布9○。			
担当教員	池田 曜子					
	単位数 2 履修開始年次 2 年生 ナンパリング・コ TTC201					
		. 1				
主題と概要		授業計画				
教育社会学の代表	版的な理論および方法論を、その歴史と近年の研究動向を踏まえながら、解説します。 2の理論と学校組織、教育環境と心運能に無点を扱ることによって、これからの社会における新しい教育のあり方、学校のあり方を構想していくことができるのかにも目を向けていきます。 起定途の講義形式にとどまらず、受講者が精極的した外表を、適宜レポート・議論に参願することによって、教育学および社会学の研究・発表手法を多角的に学ぶことに力点をおきます。		会学とはどんな学問か			
また、単なる知識	智広速の講義形式にどごよちり、 交適者が積極的に小完夜・調査レホート・議論に参照りることによつ (、 教育子がより任 <u>気</u> 学の研究・免疫学法を多用的に学がことに 川 鳥をおさまり。	復習内容:課題 第2回:教育社	※学とはどんな学問か 吹り出む際に、ただまとめて提出するだけではなく 吹り辺論:デュルケム・ウェーバー、パーンスティ れた演科を再度確認し、理解を深めるとともに不来 取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく 誰抜	、授業内容を振り返り日常生活の事例を担 ン・ブルデュー	『し理解を深めること(240分)	
		予習内容:配布: 復習内容:課題	これだ資料を再度確認し、理解を深めるとともに不り これり組む際に、ただまとめて提出するだけではなく ■++	な点を明らかにしてから次の授業にのそる 、授業内容を振り返り日常生活の事例を担	3こと(60分) 『し理解を深めること(180分)	
		新 3 回:教育 C) 予習内容:配布: 復製内容:贈贈	まな。 された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 に取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく に配分	な点を明らかにしてから次の授業にのぞ	こと(60分) 31.理解を変めること(180分)	
		第4回:社会化	- 取り煎り除に、たたよこので提出するたけではない - 配分 - わた資料太重度確切し、理解太深めストレキに不R	、技夫内台を振り返り口の主点の参加を持 けられまれるかにしてからかの授業にのぞれ	こと (60分)	
		復習内容:課題 第5回:学校組	- れた資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 - 取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく 繊理論と生徒の分化	、授業内容を振り返り日常生活の事例を持	プレ理解を深めること(180分)	
		予習内容:配布: 復習内容:課題	れた資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 に取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく	な点を明らかにしてから次の授業にのぞす 、授業内容を振り返り日常生活の事例を担	3こと(60分) 『し理解を深めること(180分)	
		第6回:教師の 予習内容:配布	は理論と主使の刃化 れた資料を開産確認し、理解を深めるとともに不り 取り組む際に、ただまとめて提出するだけではな としての教育行為 取り組む際に、ただまとので提出するだけではな まずれを再度確認し、理解を深めるとともに不用 取り組む際に、ただまとめて提出するだけではな。 ▼の社会的構成	な点を明らかにしてから次の授業にのぞ	0こと(60分)	
到達目標		第7回:教室秩	- 取り組む時に、たたまどの(提出するたけではなく 多の社会的構成 - なればはまま度で練り、 理解を認める トレモニエロ	、授業内容を振り返り日常生活の事例を持	には解を深めること(180分)	
1. 社会学の基本的な理論を理解できるようになる 2. 現在の、教育問題について、社会学的な観点から議論できるようになる 3. 学んだ知識を行りの日常生活に当てはので考えることができるようになる			7個的音:整理に指する世域を強と、理解性が多くに与いて対象を認めます。 1個的音:整理に指する世域を表現しています。 2月 日本語とより、1985年 1月 日本語の音楽を表現しています。			
1 . 学んだ知識を自分の日常生活に当てはめて考えることができるようになる			者の同: 製金水がりで食物機能、無限は、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのそれこと(60分) ・ 世界の音・製造に取りませる。 本だまとめて選出するだけではなく、使業内容を振り返り吊生法の事例を探し理解を深めること(180分) 第 2回: 階級と文化(1): 階級、エスニシティと文化 ・ 古内容: 作のされて持ちを開発課題は、理解を深めるとともに不明は点を明らかにしてから次の母髪にのそほしと(60分) イ管内容: 作のされて持ちを再発課題は、理解を深めるとともに不明は点を明らかにしてから次の母髪にのそほしと(60分) イ管内容: 原理に取り組む際に、ただまとめて理由するだけではなく、授業内容を振り返り日常生活の事例を終し理解を深めること(180分) 第 9 回: 階級と文化(2): 日本の帰郷			
		第9回:階級と 予習内容:配布:	で化(2):日本の階層 された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明	な点を明らかにしてから次の授業にのぞも	こと(60分)	
		復習内容:課題 第10回:教育	-取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく 問題(1):逸脱理論	、授業内容を振り返り日常生活の事例を担	『し理解を深めること(180分)	
		予習内容:配布 復習内容:課題	された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 に取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく	な点を明らかにしてから次の授業にのそも 、授業内容を振り返り日常生活の事例を持	こと(60分) 『し理解を深めること(180分)	
			第11回:教育問題(2):私事化社会 学者附内室: 俗応された原料を再度整調し、影響を深めるとともに不明な高を明らかにしてから次の授業にの子むこと(90分)。			
			復襲内容: 課題に取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく、投票内容を振り返り日常生活の事例を探り理解を求めること(180分) 第12回:単純との連携(1)、学校教育活動の直義 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
			護助内容: 護難に取り起目形に、たたまとめて提出するだけではなく、投業内容を振り返り日常生活の事例を求し理解を求めること(180分) 第 9 回、開起と収化(2):日本の福祉 第 9 回、開起と収化(2):日本の福祉 第 1 回 1 回 1 日本の福祉 第 1 回 1 回 1 日本の福祉 第 1 日本の福祉 第 1 日本の福祉 第 1 日本の福祉 第 1 日本の福祉 8 日			
是出課題		予習内容:配布: 復習内容:課題	れた資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 に取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく	な点を明らかにしてから次の授業にのぞも 、授業内容を振り返り日常生活の事例を担	3こと(60分) 『し理解を深めること(180分)	
	車を提出してもらいます。	第14回: 安全 予習内容:配布:	・危機管理 ちれた資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明明的組む際に、ただまとめて提出するだけではなく	な点を明らかにしてから次の授業にのぞも	こと(60分)	
		復省内谷:課題	- 取り組む除に、たたまどめ(提出するたけではなく	、授業内容を振り返り日常生活の事例を持	(し埋解を深めること(180分)	
		予習内容:配布: 復習内容:課題	, された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明 三取り組む際に、ただまとめて提出するだけではなく	な点を明らかにしてから次の授業にのそる 、授業内容を振り返り日常生活の事例を担	3こと(60分) 『し理解を深めること(180分)	
課題 (レポート	や 小テスト等)に対するフィードバックの方法					
	ていただいた課題内容の共有すべき内容や質問については、次週の授業の初めにフィードバックを行います。		⁷ ティブ・ラーニング)			
			(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
		ı – – –	スカッション、ディベート ・ゼンテーション	0		
		ı ⊢ ŏ∔—	他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも	韓半1 た1/場合 /	カ:実習、フィールドワーク	
		17.30	他(A L型であるけども、以上の項目のには fileで	欧コ () (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1		
		东类韧宁,学/	↑授与の方針と当該授業科目の関連 □ 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対			
				「捉え 祖州を改亦する怒力を結結するこ	トができる学生を育てます	
評価の基準		本授業でも、自	ィング学科では、企業環境をマーケティングの視点 ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが求め	Shat a		
課題 (25%) 授業内での発表		11				
授業内での発表 最終試験(60%)	(400)					
屋修にあたっての注意・助 言他			₿施及びICTの活用に関する記述			
授業の内容に関連のある師事問題にも興味を持ち、積極的に情報を収集してください。 欠席すると、理解が難しくなります。近親、父原氏は主意してください。		双方向授業は実	商しない。			
		実務経験の有割	課及び活用			
		実務経験の有無	株及び活用			
		実務経験の有額	株及び活用			
		実務経験の有額	設び活用			
敗科書		実務経験の有額	株及び活用			
教科書 .使用しない.		実務経験の有額	· ,			
教科書 .使用しない.		実務経験の有額	異及び活用			
.使用しない.			は及び活用			
放科書 .使用しない. 参考図書 .なし.			及び活用			
.使用しない.			は 及び活用			
.使用しない.			は 及び活用			